

平成25年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績1

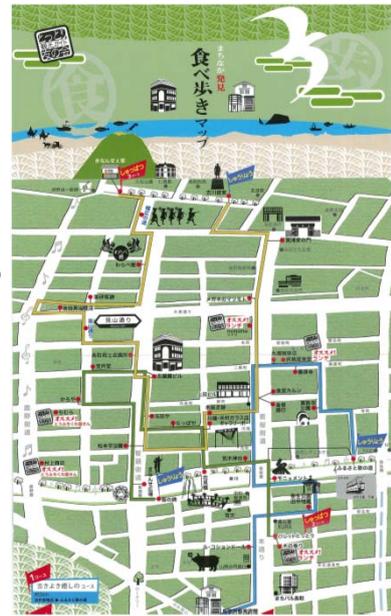
事業者	団体名	えねみら・とっとり	代表者	手塚智子
事業内容	助成事業名	みんなで作る市民共同発電所&マイ発電所事業		
	事業目的	<p>再生可能エネルギー特別措置法が施行され、地域分散型の再生可能エネルギーの普及に期待が膨らむが、地元以外の大企業や海外ファンド等によるメガソーラー事業とは異なる、地域の活性化や雇用創出、収入増にもつながる、地元のイニシアティブによる小規模分散型の再生可能エネルギーの導入が求められる。その促進には市民の参加と理解が不可欠だが、それらが十分進んでいるとは言えない。</p> <p>そこで、自分たちの手で楽しみながら「電気をつく(レ)ル」体験と実感を通して、市民の主体的な参加による再生可能エネルギーの導入を推進するための事業を行う。</p>		
	事業の内容	<p>1. みんなのまちの「市民共同発電所」普及啓発事業</p> <p>「市民共同発電所」を知ろう、作ろう、広めようをテーマに作戦会議、広報、参加型の発電所表示板作りを実施</p>  <p>2. ワークショップ「マイ発電所をつくって体験しよう」</p>  <p>太陽光パネルを使い、小さな「マイ発電所」を手作りし、遠隔地から運ばれてくる化石燃料や原子力発電にできるだけ頼らず、地域に分散型のエネルギー源を増やすことの意味を話し合った</p> <p>3. 「自然エネルギーと市民共同発電所」に関するアンケート実施</p>		
	実施場所	1. さざんか会館他 2. さざんか会館他 3. 私立幼稚園他	実施日	1. 6~3月計20回 2. 6月22日他1回 3. 2~3月
	対象者	地域活性化、エネルギーや子どもの未来に関心のある方、親子	参加人数	1. 延べ310名 2. 15名
	事業の成果	<p>多くの方々に自分たちの手で「電気をつく(レ)ル」ことを実感していただけた。市民が自ら自然エネルギーを導入することが、多様な形態で可能であることをPRできた。</p>		
	今後の活動の展望	<p>環境教育やさまざまなイベントで実演したり、独立系太陽光発電システムを貸し出す“マイ発電所体験”等を継続、展開していきたい。</p> <p>また、アンケートを活用し、次年度以降の活動に向けて企画や提案を具体化していきたい。</p>		
	費用	総事業費	138,436	助成金額

平成25年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績2

事業者	団体名	多言語国際交流サポート TIA	代表者	景下明美
事業内容	助成事業名	交流の為にコミュニケーションサポート事業		
	事業目的	<p>異文化理解とコミュニケーション実践の機会を提供し、国際交流、国際理解に積極的な市民を増やす機会を模索してきた。 そのような状況の中、NHKテレビ英語講師、オバマ大統領の同時通訳で有名な松本道弘氏の講演会、大人や子供を対象にしたディベート教室を実施する運びとなった。 この事業に参加してもらうことにより、異文化に対する啓蒙の良い機会を提供する。</p>		
	事業の内容	<p>TIA設立10周年記念イベント</p> <p>オバマ大統領初就任演説 同時通訳者 松本道弘講演会</p>  <p>多言語サポートセミナー 「外国人と鳥取人の “分かり合い”」</p> 		
	実施場所	とりぎん文化会館	実施日	平成25年5月26日
	対象者	市民	参加人数	延べ228名
	事業の成果	<p>多くの参加者に恵まれ、特に子どもディベートは後日、塾講師や保護者から「たった一日で子供が変わった！」と大好評をいただいた。</p>		
	今後の活動の展望	<p>今後も市民のみならず在住外国人にとって住みやすい街になるよう努力を重ねていきたい。 また、会員も増加の一途を辿る中、各国際交流団体、大学等との連携を強化し、自分達の力を倍増できるような企画を進めていく予定。</p>		
費用	総事業費	416,028	助成金額	200,000

平成25年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績3

事業者	団体名	とっとり観光ガイド友の会	代表者	森田道彦
事業内容	助成事業名	まちなか発見食べ歩きマップ作成事業		
	事業目的	観光客はもちろん、市民に鳥取の素晴らしさと普段気がついていない場所、お店、出来事、意外性を体感し知ることを楽しんでもらうことを目的に、「まちなか発見食べ歩きマップ」を作成する。		
	事業の内容	<p>まちなか調査、報告会議、編集会議 平成26年2月28日 マップ作成(4,000部)</p> <p>【活用方法】</p> <p>①ガイド詰所、観光協会、周辺の観光地、公共施設、協力店舗などに配布</p> <p>②団体主催の町歩きイベントで使用(4~5回) 参加予定:各20名程度</p> <p>③ガイド時にマップを配布しお勧め観光コースとして紹介</p>		
	実施場所	鳥取市内中心市街地	実施日	平成25年6月15日、9月20日、12月10日、平成26年1月28日他
	対象者	マップ配布:市民	参加人数	会員10名 協力店舗10~15か所
	事業の成果	イベントの役に立ち、具体的にガイドがしやすくなった。また、まちなかには若い人が立ち上げる店も多く、地元にも活気を与えていることがマップ作成を通して分かった。		
	今後の活動の展望	中心市街地より外側に活動を広げて繋げていきたい。 商店主、商工会、行政の取り組みの一助にガイドとしての働きを役に立てたい。		
費用	総事業費	175,750	助成金額	140,000



平成25年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績4

事業者	団体名	雑がたり実行委員会	代表者	八百谷 和子
事業内容	助成事業名	お雑さまコンクール【エッセイ&絵てがみ&短歌】		
	事業目的	鳥取市用瀬町のアピール及びお雑様・雑まつりに込めた想いを次世代に繋げることを目的として事業を実施する。		
	事業の内容	<p>お雑さまコンクール(エッセイ、絵てがみ、短歌) 作品募集、審査会、審査結果発表</p> 		
	実施場所	鳥取市内	実施日	募集:平成25年12月1日から平成26年2月20日 審査会:平成26年2月25日 結果発表:平成26年3月3日
	対象者	幼稚園児～大人	参加人数	応募総数2,689通(エッセイ243通、絵てがみ1,477通、短歌969通)
	事業の成果	過去最多の応募をいただき、雑文化を伝えたい手紙文化を振興したいという思いがようやく伝わり始めたように思う。 県外からも来町され、取り組みを応援していただいている。		
今後の活動の展望	次回のコンクールも成功させ、雑文化を継承していきたい。 これまでの入賞作品集を出版し、活動を日本全国へ発信したい。			
費用	総事業費	484,003	助成金額	200,000

平成25年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績5

事業者	団体名	特定非営利活動法人 鳥取県自閉症協会	代表者	乾 和子
事業内容	助成事業名	発達が気になる子どものペアレントトレーニング		
	事業目的	親は自分のこどもに対する最良の治療者になれるという考えに基づき、子どもが表す発達課題や問題行動に対して、子どもを認めて、ほめて育てる子育てを学ぶことにより、子どもの成長を実感し、楽しい子育てができるようになることを目指す。		
	事業の内容	<p>自分で子どもの現状を把握できるようになったり、グループで話し合いながら学び合ったりすることで、保護者同士で励まし合い、お互いが身近な支援者になり、孤立しがちな保護者に仲間作りの場を提供する。</p> <p>吉備国際大学心理学部心理学科講師 藤原直子氏による講義(5回、フォローアップ1回)</p> <p>幼児期、小学校低学年、小学校高学年・中学生、高校生以上の4グループによるグループワーク</p>  		
	実施場所	さわやか会館	実施日	平成25年10月7日、28日、11月18日、12月2日、16日、平成26年2月10日
	対象者	子どもの発達が気になる保護者	参加人数	延べ98名
	事業の成果	<p>参加された保護者の熱意は高く、アンケートからも内容についての満足度は高く、全員が次回このような機会があれば参加したいと回答があった。</p> <p>一度の受講では親の意識や行動の変容の継続は難しく、今後とも継続した情報交換の機会が必要と思われる。</p>		
	今後の活動の展望	<p>講師を囲んで定期的な同窓会(仮称)や自閉症協会の学習会を通して、継続支援ができる体制を作りたい。</p> <p>また、受講者の中から子育ての体験を活かして、ペアレントメンターとして活動してもらえる人材を育成していきたい。</p>		
	費用	総事業費	190,728	助成金額